

令和 4 年度第 1 回 燕市図書館協議会 会議録（要旨）

日 時 7 月 29 日（金）午前 9 時 30 分～11 時 00 分
会 場 燕市中央公民館 3 階 中ホール
出席委員 加藤 一夫委員、木村 久栄委員、幸田 素子委員、田村 京子委員、
新井田 義一委員、本間 哉委員、柳原 康浩委員、山口 博幸委員
欠席委員 澤田 麗子委員、田中 淳子委員
事 務 局 燕市教育委員会 小林教育長、太田教育次長、廣田社会教育課長、
石黒課長補佐、石村係長、関根主事
指定管理者 石原館長、斎藤スタッフ（燕市立図書館）
報道機関 なし
傍 聴 者 なし
議 題 報告
(1)令和 3 年度図書館利用状況について
(2)令和 3 年度図書館事業実施状況について
(3)令和 3 年度蔵書点検報告について
(4)令和 4 年度図書館事業計画について
協議
(1)第 2 次燕市子ども読書活動推進計画の進捗状況について

[以下、会議録（要旨）]

報告

(1)令和3年度図書館利用状況について

《事務局説明》

○委員

大変素晴らしい成果で、更なる発展がされると良いなと思っていた。その視点から考えたときにポイントとなるのはインターネット予約だと思う。他はかなり伸びているが、インターネット予約に関しては伸び率が他よりも若干落ちる。新型コロナウイルス状況が今後さらに続く中で、インターネット予約をどうやっていくかが今後の利用増につながると思う。この辺り、どのように考えているか。増やすための方策を何か考えているか。

○事務局

インターネットで予約する方は微増だが、予約する方の大半が図書館に来館しての方である。利用者にインターネットの方が利便性が高く、非来館、非対面で利用できるということを積極的にアプローチをしていない結果が、利用率が伸びないという結果になっていると思われる。Twitterやホームページなどのあらゆる広告媒体を通じて、インターネットで予約ができる利便性を利用者に訴えていきたい。

○委員

貸出利用者数についてお尋ねする。これは延べ人数と考えてよいのか。2週間で本を借りて返すということを繰り返していくと、1年間で大体20人に相当すると思う。昨年度は67,000人が利用されているが、実質利用者数はわかるのか。

○事務局

延べ人数という形になる。例えば同じ方が1か月に10回借りると利用者数は10件とカウントしている。

○委員

そうすると貸出登録者数に対して、実際の利用者数の比率はだいぶ低いということか。

○事務局

おっしゃるとおり実利用者数でカウントすると低くなる。

(2)令和3年度図書館事業実施状況について

《事務局説明》

(委員からの質問なし)

(3)令和 3 年度蔵書点検報告について

《事務局説明》

○委員

毎年これだけ不明が出ているが不明図書の内訳はわかるのか。

○事務局

今手元に資料がないが、趣味の類の本や美術関係の本などあまり安くない本が盗難にあう傾向が多い。ただ文庫本などはほとんどなくなるらない。ご自身で購入されないものを紛失するという傾向がある。

○委員

蔵書は皆さんの税金なり善意による寄付によって用意されている。紛失対策も取っていかないとだめじゃないか。一品一品スーパーみたいにバーコードを付けて、図書館退館時にブザーが鳴るというのは難しいと思うが、これだけ毎年 100 冊、200 冊が不明というのは非常に恥ずかしい事なので、これからも対策をよろしくお願いしたい。

(4)令和 4 年度図書館事業計画について

《事務局説明》

○委員

たくさんの活動があって非常に素晴らしいと思う。ただ新型コロナウイルスはまだ終わっていないということを前提に、これらの活動がもしできなくなった時、できないから中止ではなくできなかったらこうするという代案を含め考えていただきたい。

○委員

6 ページのつばめ電子図書館について 2 つ質問がある。まず今現在の蔵書数、そのうち子どもたちが読める本がどれぐらいあるのか。2 つ目、小中学生に PR は行っているのか。

○事務局

資料の数が今はっきりお出しできないが、利用実績の構成比としては、学校の就学前で 0.8%、小学生で 6.2%、それから中学生が 1.5%ということで、7~8% ぐらいの方が利用されているというのが実状である。

○委員

昨年度について、小学生中学生へ PR は行われていたのか。

○事務局

ちょうど電子書籍が一周年ということで、小中学校の生徒たちに電子書籍の PR チラシを作り配布した。それで数字がかなり上がったという結果が出ている。

○委員

当小学校は小規模校なので、図書館予算が非常に限られている。これは私の意見だが、電子書籍を購入すれば燕市の多くの子どもたちが本に触れる機会が持てる。ましてみんながタブレットを持っているので、こういうところも図書館利用のきっかけにするといいと思う。また、小学生向けの蔵書も増やしていただければありがたい。

○事務局

電子図書館の本の種類として、絵本、小学生向けの調べものに関する本、読み物の本も今後中心に入れていけるように選書はしている。電子図書館の紹介として、図書館だよりも QR コードなど載せ、アクセスできるようにしている。4 月の春号に関しては紹介文も載せているので、そちらからも調べられるようになっている。

協議

(1)第 2 次燕市子ども読書活動推進計画の進捗状況について

《事務局説明》

(委員からの質問なし)

その他

○委員

とある子どもプロジェクトで、大人のための絵本講座があり参加してきた。子どもにいかにも本を読ませるかということが話題にあがり、パネラーから親と子どもと一緒に絵本を読んで原画展へ出かけると子どもが本を好きになってくれる一助になる。是非原画展へ出かけていただきたい。また、絵本専門士を上手に使っていただきたいと発言があったことを伝えておく。

今日の話題とはそれるが、隣市に新しい図書館ができた。非常にきれいな図書館だった。パソコンが多く今の時代に合っていた。開館も夜 10 時までやっており使い勝手はいい。燕市は 3 地区に図書館があり、すべて老朽化しているという建物の制限がいろいろあるが、やはり子どもが使える仕掛けをこれからどんどん計画していただきたい。

閉会